

で二〇〇八年の世界平和度指数開始以来最悪
のレベルに達していた。これは主に北方領土
竹島、尖閣諸島の領土問題や、北朝鮮のミサ
イル発射、安倍元首相銃撃事件などが原因で
あると考えられる。
これらデータから僕が書きたいことは、
世界でもかなり平和な国であるにも関わらず
まだこれだけの問題や事件が起こっていると
いうことは、他どの国でも完璧な平和を現
現させる事は非常に難しいという事だ。理由
は、お互いの考え方が一致したり、妥協した
りすることが出来ない限り、そこからは争い
が起こってしまうからである。言語や民族、
宗教が違うなら尚更で絶対に譲れない事があ
るだろう。歴史的に見ても、人類は過去にも
植民地での重労働や重い税金などに苦しむ人
々が独立するため戦争を起したり、源氏
と平家が権力で争ったりしていた。このよう
に考えの違いから自分たちの考えを押し通す
ために争い事が起こるのだ。

では、どうしたら争いを減らすことが出来るだろうか。世界平和度指数が十五年間連続一位のアイスランドを参考にしてみると、よく挙げられているのは「人口が少なく住める場所が限定されているため地域の人間同士で仲良くなり、それが歯止めとなって犯罪が減っている。」「基礎教育が浸透しており、犯罪だとは知らなかったという事態を防いでいる。」「高い福祉国家であり、わざわざ犯罪を犯す必要がなくなっている。」この三つが多かった。この中で日本に足りないもので実現可能なものは、三つ目の「高い福祉国家」だと考える。これを実現する方法として僕が考えたのは、各種税金をこれまで以上に高くして、厚い福祉を実現する。貯金が多くある人には年金を出さない制度を作り、必要なところに使う。軍事費を減らす。ということが考えられたがいずれにしても税金が重くなり過ぎて国民の不満が高まったり、福祉が充実し過ぎて働かない人が増えたり、平等ではないと言う人が

